

令和6年度農林水産物マッチング事業（交流会業務）
公募型プロポーザル募集要領

1 業務の目的

東日本大震災・原子力災害以降、福島県（以下「県」という。）では県産農林水産物の風評払拭を図るため、県産農林水産物の安全性及び魅力を発信するとともに、販路の回復・拡大に結びつく取組を一体的に展開してきた。その結果、県産農林水産物の販売価格については、一部の品目では震災前の状態に戻りつつあるものの、未だ震災前の水準に回復していない品目も見られる。

そのため、本業務は、県産農林水産物の販売価格の回復に貢献するため、全国の卸・小売事業者や飲食関係者、流通事業者等及び県内生産者等を対象に、商談による県産農林水産物の販売促進及び交流による商流確立・維持を図り、県産農林水産物の一層の販路拡大を目的とする。

2 業務名

令和6年度農林水産物マッチング事業（交流会業務）

3 業務概要

- (1) 県産農林水産物の販売促進に資すること
- (2) 県産農林水産物の商流確立・維持に資すること
- (3) (1)及び(2)の効果測定

なお、委託契約期間は、契約の日から令和7年3月31日までとする。

4 業務仕様

別紙「令和6年度農林水産物マッチング事業（交流会業務）業務仕様書（案）」のとおり。

なお、具体的な手法は、審査で選定した企画提案内容を基に、業務委託予定者と県が協議して仕様書を作成した上で決定する。

5 見積限度額

32,680千円（消費税及び地方消費税額を含む。）以内

※ 提案された企画内容を実施するために必要となるすべての経費を含む。

6 参加資格

企画提案書を提出する者に必要な資格は次のとおりとする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しないこと。
- (2) 募集要領を公示した日から契約締結日までの期間において、県における入札参加資格制限措置要綱の規定に基づく入札参加制限中の者でないこと。

- (3) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）の規定による更生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者（同法第 41 条第 1 項に規定する更生手続開始の決定を受けた者を除く。）又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の規定による再生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者（同法第 33 条第 1 項に規定する再生手続開始の決定を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）に該当しないほか、次に掲げる者でないこと。
- ア 役員等（提出者が個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、提出者が法人である場合にはその役員、その支店又は常時契約を締結する事務所の代表者その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団又は暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）。
- イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者。
- ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者。
- エ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている者。
- オ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者。
- (5) 県税を滞納している者でないこと。
- (6) 消費税又は地方消費税を滞納している者でないこと。

7 実施のスケジュール

次の表のとおり。

日 程	項 目
令和 6 年 8 月 8 日（木）	プロポーザル募集要領の公表
令和 6 年 8 月 19 日（月） 17 時	質問書の提出期限
令和 6 年 8 月 21 日（水）	質問書への回答
令和 6 年 8 月 26 日（月） 17 時	参加申込書の提出期限
令和 6 年 8 月 28 日（水）	参加資格確認結果の通知
令和 6 年 9 月 2 日（月） 17 時	企画提案書等の提出期限
令和 6 年 9 月 4 日（水） 予定	一次審査（書面）結果の通知
令和 6 年 9 月 10 日（火） 予定	二次審査会（プレゼンテーション）
令和 6 年 9 月 13 日（金） 予定	審査結果の通知
令和 6 年 9 月下旬 予定	契約締結

8 手続きに関する事項

(1) 質問の受付

質問については、以下により受け付ける。

- ア 提出書類：令和6年度農林水産物マッチング事業（交流会業務）公募型プロポーザル募集要領等に関する質問書（様式第1号）
- イ 提出期限：令和6年8月19日（月）17時まで
- ウ 提出方法：農産物流通課宛に郵送、持参又は電子メールにより提出すること。
※郵送による提出の場合、8月19日（月）必着で送付すること。
※持参による提出の場合、受付時間は、月曜日から金曜日（祝日を除く）の8時30分から17時までとする。
※電子メールによる提出の場合、電話で受領確認すること。
- エ 回答方法：質問に対する回答は、競争上の地位その他正当な利害を害するおそれのあるものを除き、8月21日（水）17時までに、農産物流通課のホームページに掲載する。

(2) 参加申込

プロポーザルに参加する意思のある者は、以下により必要書類を提出すること。

なお、この提出がない者の企画提案は受け付けない。

- ア 提出書類：①令和6年度農林水産物マッチング事業（交流会業務）公募型プロポーザル参加申込書（様式第2号）
②会社概要や業務分野が記載された資料（1部）
- イ 提出期限：令和6年8月26日（月）17時まで
- ウ 提出方法：農産物流通課宛に郵送、持参又は電子メールにより提出すること。
※郵送による提出の場合、8月26日（月）必着で送付すること。
※持参による提出の場合、受付時間は、月曜日から金曜日（祝日を除く）の8時30分から17時までとする。
※電子メールによる提出の場合、電話で受領確認すること。
- エ 回答方法：参加申込書の内容及び参加資格要件の適否を確認し、その結果を8月28日（水）までに書面で通知する。

(3) 企画提案書等の提出

プロポーザルに参加する意思のある者は、8の(2)の参加申込を行った上で、以下により必要書類を提出すること。

- ア 提出書類：①企画提案書（記載内容等については9のとおり）
②類似業務実績一覧（令和4～5年度）
- イ 提出部数：15部
- ウ 提出期限：令和6年9月2日（月）17時まで
- エ 提出方法：農産物流通課宛に郵送又は持参により提出すること。
※郵送による提出の場合、9月2日（月）必着で送付すること。
※持参による提出の場合、受付時間は、月曜日から金曜日（祝日を除く）の8時30分から17時までとする。
※電子メール又はFAXによる提出は受け付けない。

(4) 提出先

各書類の提出先は、「14 問合せ先及び提出先」のとおり。
なお、提出された書類等は返却しない。

9 企画提案書の記載内容等

(1) 記載内容

以下の「提案1」から「提案4」までを記載すること。

【提案1】業務の取組内容

ア 業務の取組内容について、別紙「令和6年度農林水産物マッチング事業（交流会業務）業務仕様書（案）」の(1)から(3)まで提案すること。

イ 関係企業・団体と連携を図り、具体的な提案内容となるよう配慮すること。

ウ その他、本業務の目的を達成するために必要な取組があれば、提案すること。

エ 企画内容を実施するためのスケジュールを表で示すこと。

【提案2】事業効果の設定と検証

ア 本業務で展開する取組を評価するための定量的な評価項目、その項目の現状及び目標値を設定すること。

イ 各業務の実施結果を効果検証する方法を提案すること。

【提案3】業務の実施体制

ア 本業務を遂行するための業務実施体制について、提案企業内部のほか、具体的に連携する企業・団体とその担当内容や役割が分かるように提案すること。

イ 本業務の遂行に当たっては、十分な経験を有する者を総括責任者として選任することとし、総括責任者の所属、氏名、経歴、過去の実績等を明記すること。

【提案4】積算見積書

それぞれの費目の内訳が分かるよう記載すること（人件費、交通費、通信運搬費、印刷費、電波料、掲載料、制作費等）。

(2) 様式

日本産業規格A4版横で両面15枚以内（総頁数：30頁以内）とすること。

なお、表紙は枚数に含めず、必要に応じてA3版の折込も可とするが、2頁としてカウントする。

(3) 費用負担

企画提案書等の作成等に要する費用は提案者の負担とし、企画提案書等の返却はしない。

10 企画提案書の評価基準等

(1) 選定方式

公募型プロポーザルの選定方式により、各参加者からの企画提案を受け、県はこれを総合的に評価し、業務委託予定者（単独随意契約の予定者）を選定する。

ア 一次審査（書面審査）

参加者の企画提案書について書面審査を行い、二次審査におけるヒアリング対象

者（3者以内）を選定する。一次審査結果については、企画提案書を提出した参加者全員に対して書面で通知する。

【一次審査の結果通知：令和6年9月4日（水）】

イ 二次審査会（プレゼンテーション）

一次審査で選定された対象者に対し、企画提案書のプレゼンテーション及びヒアリングによる二次審査を実施する。

(ア) 正式な開催日時及び場所は別途通知する。

(イ) プレゼンテーションは25分以内（15分以内の説明、10分以内の質疑）とする。

(ウ) その他参考資料（プレゼンボード、写真等）の持ち込みは可とするが、追加資料の配布は認めない。

【二次審査の実施日：令和6年9月10日（火）予定】

(2) 審査基準及び配点

下表の評価項目及び評価基準により審査を行う。特に、事業の取組内容や効率的かつ効果的な業務の実施体制とともに、予算額の妥当性に重点を置き、審査を行う。

審査項目	配点	評価基準
1 業務の取組内容	60点	目的及び業務内容の理解度、提案内容の具体性・確実性・有効性・訴求性等、スケジュール管理
2 事業効果の設定と検証	10点	分かりやすい事業効果の設定、検証方法等
3 業務の実施体制	15点	実施体制、業務遂行能力等
4 積算見積	15点	実施内容に対する予算額の妥当性等
合計	100点	

(3) 業務委託予定者

ア 審査会において審査委員ごとに企画提案書の審査・採点を行い、その点数を合計した総合点と順位を参考に、業務委託予定者及び次点の者を決定する。

イ 企画提案者が1者のみの場合は、審査委員の総合点の平均点が一定点数以上となった場合に、当該事業者を業務委託予定者とする。

(4) 審査結果の通知及び公表

ア 審査の結果通知

審査の結果は、二次審査参加者全員に対して、書面で通知する。また、審査結果を農産物流通課のホームページに掲載し、業務委託予定者を公表する。

【結果通知及び公表：令和6年9月13日（金）予定】

イ 審査結果に関する開示請求

選定されなかった者は、その審査結果通知の日の翌日から起算して2週間以内に選定されなかった理由を書面により求めることができる。また、その開示は書面にて行い、請求書が到達した日から起算して10日以内に通知する。

11 企画提案書を失格とする事項

次のいずれかに該当する企画提案書は失格とする。

- (1) 募集要領等で示す条件に違反した企画提案書
- (2) 虚偽の内容が記載されている企画提案書
- (3) 審査委員又は関係者に企画提案書に対する援助を直接的又は間接的に求めた者が提出した企画提案書

12 契約に関する事項

- (1) 仕様書の協議

業務委託予定者と県が協議して、委託契約に係る仕様を確定した上で契約を締結する。

- (2) 契約金額の決定

協議結果に基づき仕様書を作成し、これに基づき改めて見積書を徴取して決定する。なお、見積金額は上限額を超えないものとする。

- (3) 評価内容の担保

企画提案書に基づく履行ができなかった場合において、再度の履行が困難又は合理的でないときは、県は契約の相手方に対し契約金額の減額、損害賠償の請求、契約の解除、違約金の請求の対象とすることができる。

- (4) その他

この手続きに参加した者が、参加資格のいずれかを満たさないこととなった場合、または見積徴取の結果、契約締結に至らなかった場合は、審査結果において総合評価が次点であった者と契約の協議をする。

13 その他の事項

- (1) 県で実施する他の関連事業との連携に配慮し、相乗的な効果の発現に努めるものとする。
- (2) 本業務として作成した各種コンテンツは、複数年の使用、県のホームページ、ポスター・パンフレット等への二次利用を行う場合がある。については、県が二次利用するにあたり、第三者の有する著作権その他の権利を侵害することがないように、必要な許諾を得ること。
- (3) 企画提案のあった規模を下回ることはできないため、実現可能な提案とすること。仮に実施計画書の内容を実施できない場合には、県と協議の上、それに匹敵する内容、活動に変更することが可能であるが、内容によっては委託料の減額となることがある。
- (4) 必要な資材の調達等は可能な限り県内事業者を活用すること。

14 問合せ先及び提出先

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号（福島県庁 西庁舎9階）
福島県 農林水産部 農産物流通課（担当：渡部、伊藤、川本）
電話 024-521-7377 E-mail ryutsu.aff@pref.fukushima.lg.jp